神戸新聞 2020年09月22日 火曜日 面名 明石 １３ 21ページ

投影機「還暦」赤く飾り付け

設置60年、記念タンブラー販売

■市立天文科学館プラネタリウム■

上還暦祝いの飾り付けをしたプラネタリウム投影機＝いずれも明石市人丸町　下投影機が描かれたタンブラー

設置から60年を迎えたプラネタリウム投影機の「還暦」を祝おうと、明石市立天文科学館（同市人丸町）で、投影機や設置台などが赤く飾り付けられている。敬老の日の21日、多くの家族連れや天文ファンが詰めかけ、星への夢を届けてきた機器に感謝した。

同館の投影機は旧東ドイツのカールツァイス・イエナ社製で、1960年6月10日の開館に合わせて設置された。95年の阪神・淡路大震災で同館は大きな被害を受けたが、投影機は無事だった。

現在も使われている機器では国内最古で、世界でも5番目に古い。2012年には旧大阪市立電気科学館（現大阪市立科学館）を上回り、稼働日数日本一となった。22日には稼働2万2020日を迎える。

新型コロナウイルスの影響で記念イベントは開催しなかったが、機器には天文ファンから贈られた赤いちゃんちゃんこを掛け、設置している台には帯状の赤い布を巻いた。ファンの寄せ書きや赤い花も添えた。飾り付けは10月末まで。

子どものころから同館を訪れているという主婦、大西智子さん(54)＝神戸市西区＝は「投影機と一緒に歳を重ねてきた。これからも末永く愛される存在であってほしい」と話した。

同館は稼働60年を記念し、投影機が描かれたタンブラーを販売中。同館のミュージアムショップと明石観光協会オンラインショップで購入できる。350ミリリットル。800円。同館☎078・919・5000

（川崎恵莉子）

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

ＮＩＥワークシート
／小学校中学年～中学生／理科・社会・総合

なまえ【　　】

①明石市立天文科学館の投影機について言葉を書き入れましょう。

㋐旧東ドイツの□□□□□□□・□□□社製で、□□□□年６月１０日の開館に合わせて設置された。□□年の阪神・淡路大震災で同館は大きな被害を受けたが、投影機は無事だった。

㋑現在も使われている機器では国内□□で、世界でも□番目に古い。２０１２年には旧大阪市立電気科学館を上回り、稼働日数□□□となった。２２日には稼働□□□□□□日を迎える。

②この記事の感想を書きましょう。